

つぎの 文しょうを 読んで、もんだいに 答えましょう。

すな場で、大きな山を作ったことはありますか。かわいたすなで山を作ろうとすると、すなはさらさらとながれて、なかなか高くなりません。上にすなをのせても、すぐにくずれてしまいます。

そこで、すなに水をかけてみましょう。しめったすなは、手でぎゅっとおすと、かたまります。すなのつぶとつぶの間に水が入ると、つぶどうしがくつきやすくなるからです。

ただし、水をかけすぎると、こんどはどろどろになって、ながれ出してしまいます。すなを手でにぎったとき、形がのこるくらいが、ちょうどよいのです。山を高くするには、もう一つくふうがあります。すなをのせるたびに、手ではばんとたたいて、かためるのです。下のほうがしっかりとまっっていると、上にすなをのせても、くずれにくくなります。

水の多さと、たたいてかためること。この二つに気をつければ、すな場に大きな山が作れるはずですよ。

(このもんだいのための書きおろし)

(一) かわいたすなで山を作ろうとすると、すなはどうなりますか。文しょうから十字までで書きぬきましょう。

さ
ら
さ
ら
と
な
が
れ
て

(二) しめったすなが、かたまるのはなぜですか。ア～ウから一つえらびましょう。
ア すなが、水でとけてしまうから。
イ すなのつぶが、大きくなるから。
ウ すなのつぶどうしが、水でくつきやすくなるから。

ウ

(三) 水の多さは、どのくらいがちょうどよいですか。「くらい」につづくように、文しょうから二十字までで書きぬきましょう。

こ	す
る	な
	を
	手
	で
	に
	ぎ
	っ
	た
	と
	き
	、
	形
	が
	の

(四) 山を高くするための、水のほかの、もう一つのくふうは何ですか。三十五字までで書きましょう。

	て	す
	か	な
	た	を
	め	の
	る	せ
	こ	る
	と	た
	。	び
		に
		、
		手
		で
		た
		た
		い

【小2】国語 文章問題 説明文 3 答えと解説

問一（二十五点） 答え：さらさらとながれて

解説：一つ目のまとまりの二つ目の文から。

問二（二十五点） 答え：ウ

解説：二つ目のまとまりの最後の文から。

問三（二十五点） 答え：すなを手でにぎったとき、形がのこる

解説：三つ目のまとまりから。水が少ないとさらさら、多すぎるとどろどろになる。

問四（二十五点） 答えの例：すなをのせるたびに、手でたたいてかためること。

解説：四つ目のまとまりから。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

- ①すなをのせるたびに
- ②手でたたいてかためる